

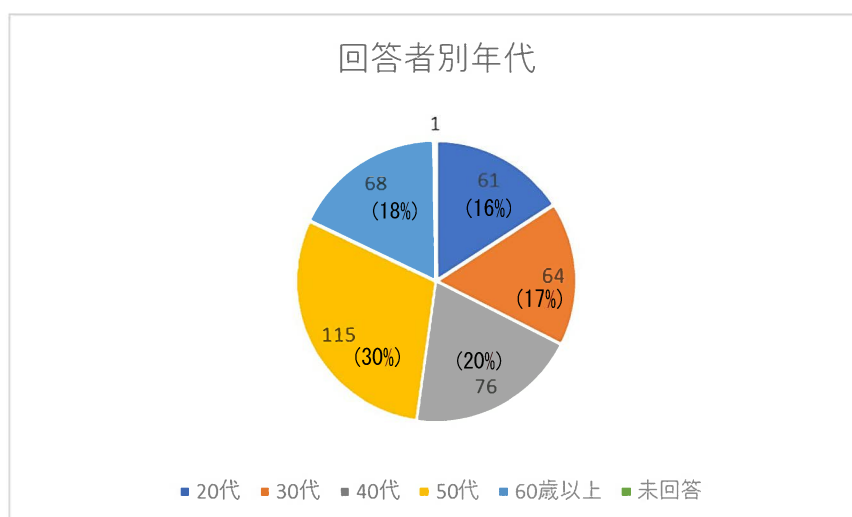
## 「三豊市立学校再編整備に関するアンケート調査結果報告」

三豊市立学校再編整備基本方針を策定するうえで、市内小中学校に勤務する教職員の皆さんの意見を聞き検討資料とするため、下記内容でアンケートを実施しました。

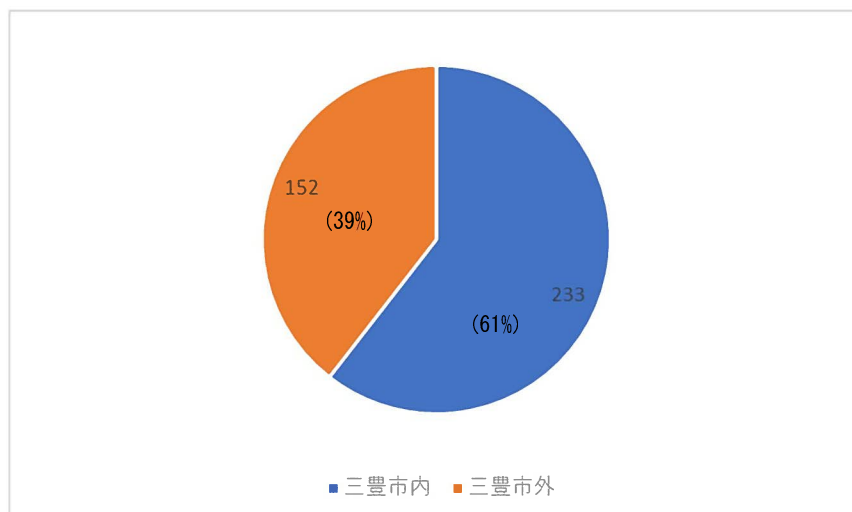
### 調査対象者・調査方法等

対象者	三豊市内小中学校に勤務する教職員 ※週 20 時間以上勤務する者
アンケート期間	令和 5 年 11 月 21 日～令和 5 年 12 月 4 日
アンケート方法	LOGOフォーム（ネット）による回答
回答人数	385人（58.7%）

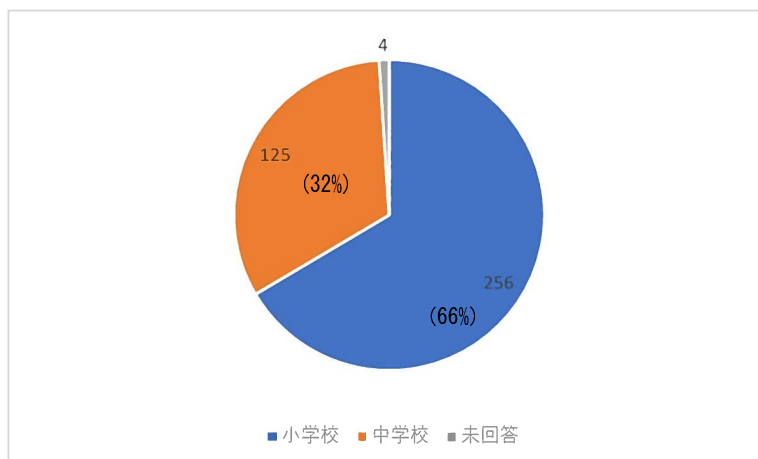
### Q1 年代について



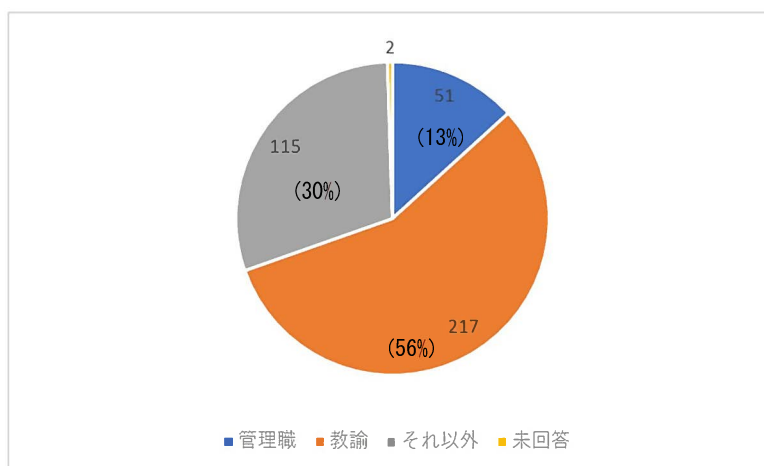
### Q2 お住まいについて



Q3 勤務する学校区分について

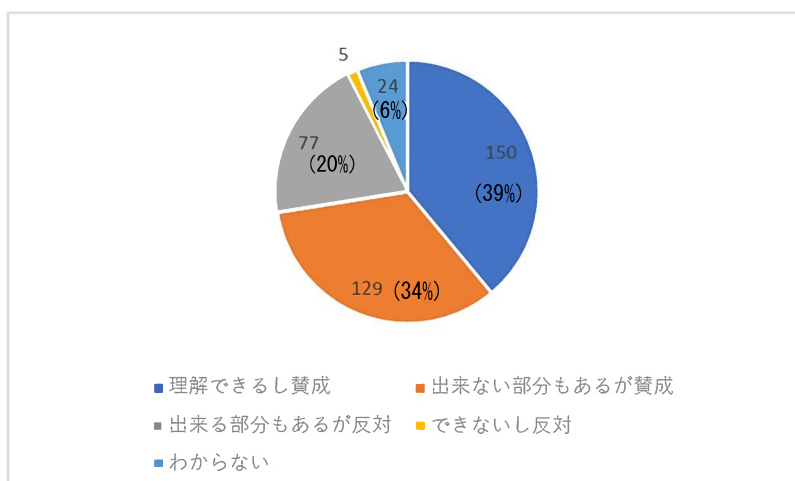


Q4 役職区分について



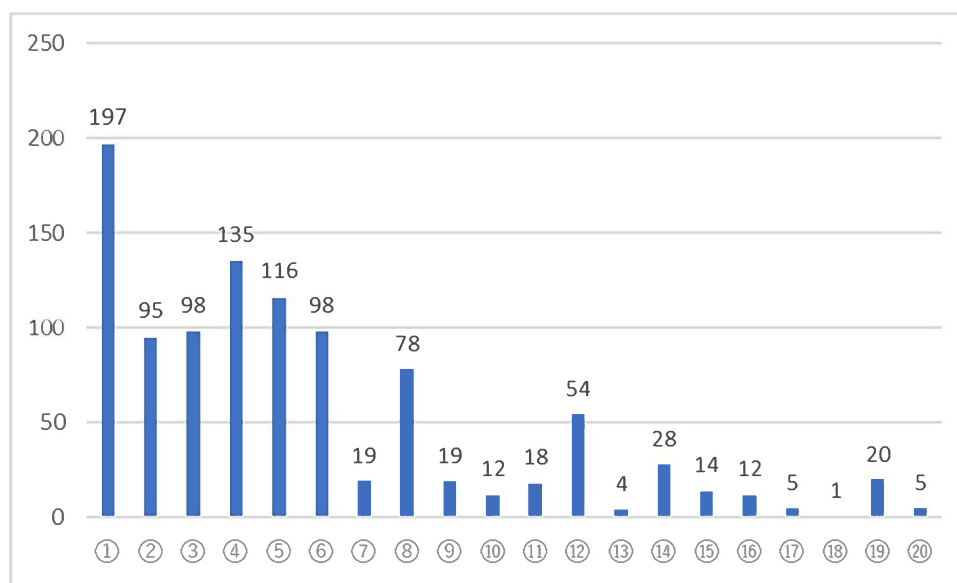
Q5 検討委員会から「三豊市立学校再編整備基本方針を策定し、市内小中学校の再編整備を進めること」との答申を受けました。学校再編整備(統合)についてどのように思われますか。

- ① 再編整備(統合)は理解できるし賛成
- ② 再編整備(統合)は理解できない部分もあるが賛成
- ③ 再編整備(統合)は理解できる部分もあるが反対
- ④ 再編整備(統合)は理解できないし反対
- ⑤ わからない



Q 6 Q5 の理由で近いものを選択(3 つまで選択可)

- ① 集団の中で、多様な考えに触れ協力し合い切磋琢磨する機会が多い
- ② 社会性や協調性、たくましさなどを育みやすい
- ③ 運動会などの学校行事や音楽活動等の集団教育活動に活気が生まれやすい
- ④ 児童生徒数、教員数がある程度多いため、グループ学習や習熟度別学習、専科教員による指導など多様な学習・指導形態をとりやすい
- ⑤ 学校までが遠くなることから、登下校時の安全性が心配
- ⑥ 児童生徒の増加により子ども一人ひとりの把握が難しくなりやすい
- ⑦ 学校行事や部活動などにおいて児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しにくい
- ⑧ 保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい
- ⑨ PTA 活動などにおける保護者一人あたりの負担が少なくなりやすい
- ⑩ 集団の中で、多様な考えに触れる機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい
- ⑪ 異学年と接する機会や交流があり学年を超えた交流が生まれやすい
- ⑫ クラス替えが困難なことから、人間関係や相互の評価などが固定化しやすい
- ⑬ 運動会などの学校行事や音楽活動などの集団教育活動に制約が生じやすい
- ⑭ 児童生徒一人ひとりの把握ができ、きめ細やかな指導が行いやすい
- ⑮ 児童生徒一人ひとりに個別の活動機会を設定しやすく、リーダーを務める機会が多くなる
- ⑯ 児童生徒相互の人間関係が深まりやすい
- ⑰ ICT 機器などの授業で使用する教材や教具が一人ひとりに行き渡りやすい
- ⑱ PTA 活動などにおける保護者一人あたりの負担が大きくなりやすい
- ⑲ その他
- ⑳ 未回答

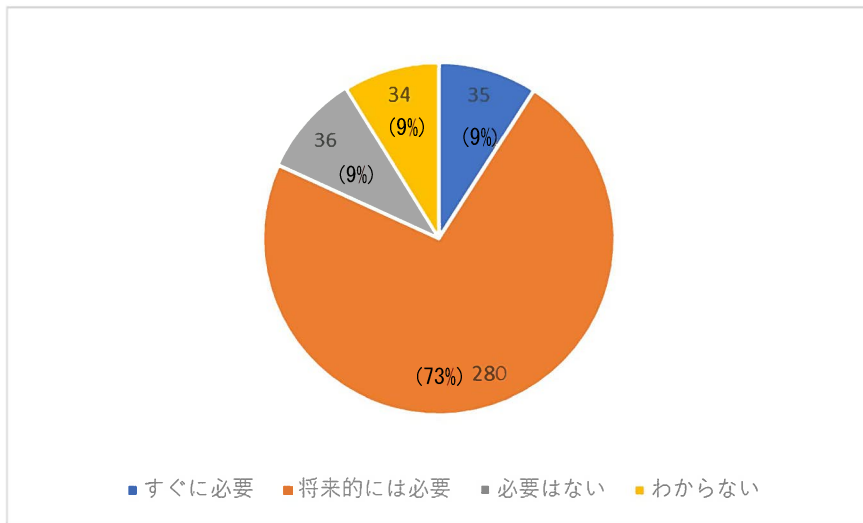


⑱その他の意見

- ・子どもの人数が減少しているので、やむを得ない。
- ・経費の有効活用
- ・上記のメリットもデメリットもあるが、生徒数の減少により仕方ない部分が多い。
- ・教員の人数の確保ができる
- ・学校数を絞ることで、集中して資源を投入できると思うから
- ・小規模校は、校務分掌の割に教員数が少ないので教員1人1人の負担が大きい。働き方改革を進めるなら多くの教員で仕事を分業し、1人あたりの負担を減らすべきだと思う。
- ・通学距離が遠くなる
- ・自分の母校がなくなるので。
- ・豊中町であるがいきなり5校合併は厳しいと思う。現在の学校規模でも荒れている学校がある中それらが大規模に統合することは更なる混乱を招くことが必至であると考えから。宇多津町等他の自治体の大規模合併後の弊害を良く調べてほしい。
- ・地域特有の伝統文化が廃れていく。
- ・保、幼、小、中の関係がくずれずに続くことで、保護者を含む人間関係の維持、向上が難しい。
- ・バス通学などが必要になると、始業前や放課後の活動、部活動の制限が大きくなり、その子どもたちが不利になる。
- ・通常学級が複数ある学校であれば、統合の必要はないと思う。
- ・少子化対策といった面で、逆行しているように感じる。どの地域でも、子育てがしやすい環境を維持すべきだ。地域格差が生まれないような配慮をしてもらいたい。
- ・100人程度の小学校なら、全校児童に目が行き届き、生徒指導面でも学習面でも、一人一人を大切にされた指導ができる。さらに、高学年になれば全員がリーダーとして活躍の場が与えられ、大きく成長するチャンスでもある。多人数では指導が難しいので、少人数加配を入れたり、40人規模の学級を二つに分けたりしているのに、なぜまた教育的効果が低下する多人数にする必要があるのか。小学校は歩いて登校できるから、体力面の向上が図れたり、地域の友達との絆が深まったりできている。地域の学校がなくなることで、その地域から子供の姿や声が消えていき、新しい小学校の近くには人が集まり、地域間の格差も広まっていくのではないかと。やっぱり、自宅の近くに歩いて通える小学校がある方が、教師も保護者も安心できると思います。
- ・百人前後の学校と数百人前後の学校を経験し、特別支援学級の子どもたちにとっては、前者の方が明らかに安心感がちがう。児童の規模、保護者や地域の理解など子どもが安心できる環境を残すことも大切と考える。支援学級の担任としての立場で答えています。
- ・地域コミュニティの維持が困難になり削減した以上の予算が必要となるリスクが見込まれる

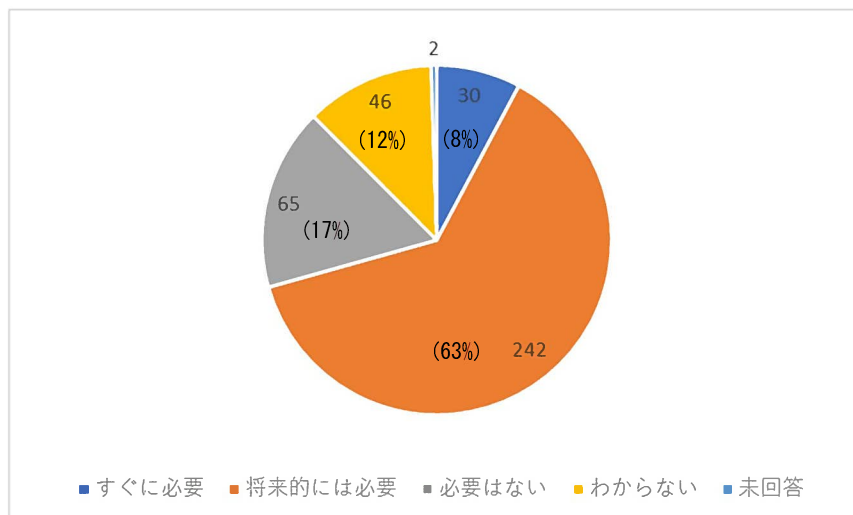
Q7 少子化が進行するなか、検討委員会から出された適正規模内の市内小学校は2校のみとなっています。(R4年)※下限規模の120人以下は7校  
 地域にある小学校は再編整備(統合)が必要だと思いますか

- ① すぐに必要
- ② 将来的には必要
- ③ 必要はない
- ④ わからない



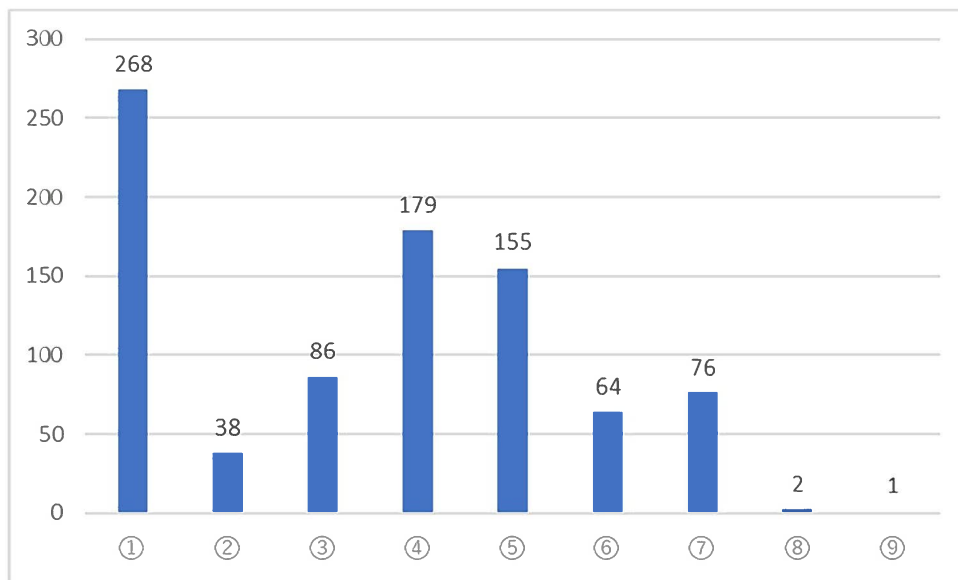
Q8 少子化が進行するなか、検討委員会から出された適正規模内の市内中学校は1校となっています。(R4年三豊中学校含む) ※下限規模の180人以下は2校  
 地域にある中学校は再編整備(統合)が必要だと思いますか。

- ① すぐに必要
- ② 将来的には必要
- ③ 必要はない
- ④ わからない



Q9 学校を統合することを想定した場合、学校にはどのような機能や配慮が必要だと考えますか

- ① 児童・生徒が快適に学習できる環境であること
- ② 地域に開かれた文化・スポーツ活動の拠点であること
- ③ 地域の防災拠点として安心・安全な施設であること
- ④ 児童生徒の登下校時の安全性
- ⑤ 通学距離に応じた通学方法
- ⑥ 地域コミュニティとのつながり
- ⑦ それぞれの学校における特色ある教育活動等を活かす学校づくり
- ⑧ その他
- ⑨ 未回答



⑧その他の意見

- ・教員の配置数
- ・通学時間の変更 8時から 8時 30分へ。学校から遠い児童の通学時間が早くなりすぎ負担が大きい。早朝に登校することによる安全面での懸念もある。バスの停車、展開場の設置及びそれを専門に対応する人員の確保。

Q10 地域にある学校施設についてお聞きします。

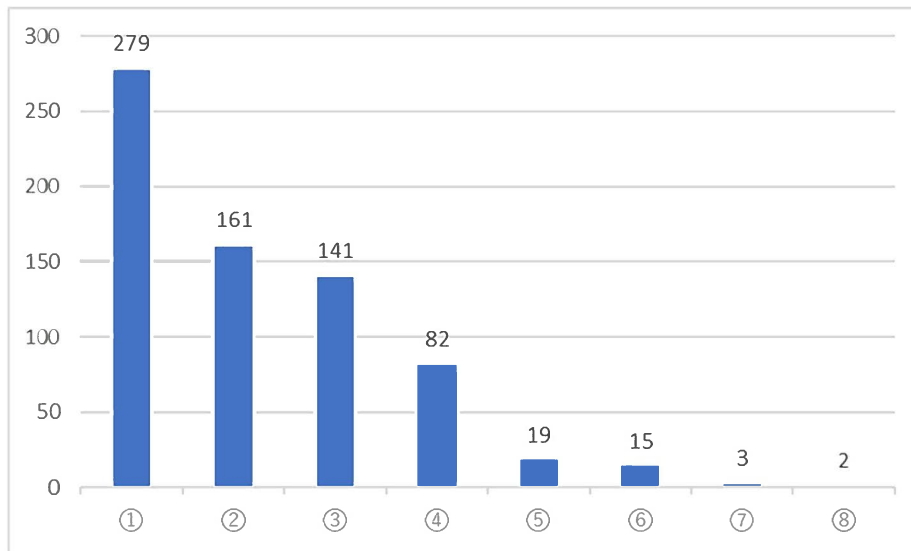
市内の学校は築年数が経過し老朽化した施設が多くなってきています。

学校施設の老朽化により発生する問題のうち考えの近いものについてお答えください。

- ① 災害の発生時に施設が壊れやすくなる可能性があるなど、児童の安全が確保できなくなる恐れがある
- ② 施設が建設当時の考え方で設計されているため、教育内容・方法の変化に対応できず、

児童・生徒の教育環境を充実させることが難しくなる

- ③ 雨漏りや設備の故障などにより、学校生活に支障をきたす恐れがある
- ④ 災害の発生時に地域の避難施設として使用できなくなる恐れがある
- ⑤ 児童・生徒の登校意欲が低下する恐れがある
- ⑥ わからない
- ⑦ その他
- ⑧ 未回答



#### ⑦その他の意見

- ・数年前に学校の校舎は耐震工事をして強化している。検討委員会が老朽化と判断しているのなら、その基準や根拠を具体的に示して欲しい。学校は建物だけでなく、地域の人たちや子ども、先生方の教育・生活の場であり、地域を活性化させる役割や歴史を刻んできている。もっと総合的に考えるべきであると思う。
- ・なじみの深い学校がなくなることは、さみしいことだ。
- ・余剰の部屋などが少ない

#### Q11 自由意見

- ・小学校が三豊市で2校、中学校が1校が適正規模とあるが、そのため学校から遠隔地の生徒や保護者の負担をまず第一に考えなければならない。仮にバスで登下校するといっても、三豊市の中央を豊中・高瀬とした場合、三豊市の遠隔地なら20～30分くらいかかる。その生徒は、その時間だけ、早く起床しなければならないし、早く部活動を切り上げて帰らなければならない。これは、日本国憲法にかかれた「誰もが平等に教育を受ける権利」を侵害していないか。たしかに、少子化で学校の統廃合は避けられないことはよく理解するが、効率一辺倒であってはいけない。

- ・学校の再編整備は行うべきである。その際に、新しい校舎を作らなければ、この後生徒の生活に支障が出る。生徒が学校生活を送るためにより良い学校の環境を大人が作るべきである。現在はこどもファーストではなく、大人の都合でこどもを振り回している。
  - ・児童数の減少や老朽化はそうかもしれませんが、児童の人数が多くなりすぎると、埋もれてしまう児童もできます。そういった配慮ができるのかどうかとても心配です。教員を増やしてくれなければ先生方もパンクすると思われます。未来を支える子どもたちの笑顔が広がる学校づくりができたらいいと思います。
  - ・バス通学を行なっている小学校について、登下校についての児童は本来学校と保護者、地域が連携して行うはずだが、学校が担うウエイトが大きすぎる。もう少し、学校がすべきこと、地域や保護者に協力を依頼できること、など、具体的な指針をバス通学を実施している学校で統一できれば、指導や問題対応の方針が揃い、最終的には安全に登下校ができることにつながると思う。(例えば、下校のバスに同乗して学校へ帰ってくると16時30分になっている。教材研究などの仕事を行うのが必然的に勤務終了時刻後になる。現状、校長の命令によって行う業務ではないため、校長が割り振り休などで対応しているが、本来であれば教員だけが担わなければならないことなのだろうか。また、ある学校は地域や保護者に協力を依頼しているが、ある学校は職員だけが行なっているというようなことはないか。)
  - ・児童用は少し解説が必要で、児童にとってわかりにくい設問がありました。
  - ・地域と連携した行事(田植えなどの栽培活動など)が持ちにくくなるかもしれないが、うまく取り入れられるようにできればと思う。
  - ・少人数の良さもあるが、子どもたちを見ていると、大人数の中で、学習したり、生活したりして、多くの人の考えにふれることも必要なのではないかと感じることが多い。計画的に統合を進めていってほしいと思う。
  - ・保育所、幼稚園をこども園として、統合していく予定はあるのでしょうか。少子化の影響を最も受けて、小規模化が進んでいると思うのですが。
  - ・学校再編につきましては、検討を重ねて、十分な教育効果や計画ができた場合に実施すべきだと思います。土地の確保や建設、通学路など懸念点はたくさんあると思いますので、時間をかけて検討すべきだと思います。
- また、通学路問題など、地域との折り合いをつける部分はあるかと思いますが、はっきりルールを明文化し曖昧さを排除していく必要があると感じます。〇〇さんはバス通学可能で、自分たちは何でダメか、など説明できないことはなくすべきです。2km圏外にのみ、限るとききちんと明文化してそれ以外は0.1mの距離であっても許すべきでないと思います。地域の方や保護者の意見ばかり吞まず、行政としての線引きや明文化したルールを守ることは例外なく行われるべきだと思います。そうでないと、みんながわがままに自分のことだけを考えルールが通らなくなります。地域や保護者に意見を聞くのも大切ですが、行政が主導権をきちんと握って線引きしつつ、進めてくださることを願っています。
- ・適正規模、学校再編成にも、理解し賛成ではあるが、寂しい気持ちです。
  - ・子どもの成長にとって、より良い環境になるように早く進めて欲しい。



- ・統合により教職員一人あたりの児童数が減る、教科担任制が実現できる、などを望みます
- ・アンケートが反映されると良い。
- ・選択肢の中から選択上限数が決められていたのは回答するのに選びきれず困ったので、切らないでもよいのではないかと思った。
- ・教員は、統合に賛成とか反対とかを言いにくい立場です。特に管理職は、個人的な意見としても、個人的な意見としても理解いただけないと思います。アンケート結果の公表については配慮いただきたいと思います。
- ・具体的にどのように再編されるのかが分からないので、答えるのが難しいです。
- ・少人数のため、統廃合は避けて通れないことだと思う。遠隔地の生徒には、バス通学ができるよう配慮するべきだ。自転車通学で、事件事故に遭わないためにも、必要である。
- ・人数が極端に少ないと、教育活動を行う際に支障が出るかもしれないことを考えると統合もやむをえないと思う。しかし、学校がなくなることは地域の活気をそがれるような気もする。  
(このような時代になるとは、少し悲しいです。)
- ・各地域には、地元から自分の母校が無くなることとうの理由で、心情的に賛成できない方がいると思います。でも、そのような方も、時間が経ち、実際に統合された学校に通う子どもたちの笑顔を見て、「統合してよかった」と思うはずです。与えられた環境で、価値のある生活を見つけることができるのが、「生きる力」を培ってきているわたしたちです。決断するときには毅然とし決定し、効果的な学校教育を提供してください。
- ・理由の内容が、現状からズレている感じがした。
- ・もし統合して、小・中学校ともが町内に1校ずつになると、小・中学校の9年間も同じメンバーになり、子どもたちの人間関係が変わらなくなってしまう。そうすると、子どもたち間の人間関係の固定化が少し心配になる。
- ・拙速に統合を進めているように思う。地域で育まれてきた校風や誇りを大切にしたい。子どもが自力で通えるところに学校があることが成長に寄与している。  
財源の問題で学校のスリム化を図っている。校舎を建て替えるなら統合、教職員のコストを減らすために統合、と。とても残念だ。  
今、大変な子が多く、ますます配慮が求められているのに。
- ・いくつかの小学校がすでに統合されていることから、メリットやデメリットが挙げられていると思う。通学距離などの問題は出てくるが、新設校の使いやすさや設備更新の容易さ等、新設校であることでの教員の負担の軽減が図られるべきである。  
(体育館を例に、備品保管場所の十分な確保・移動のしやすさ・学校外団体の使用制限 等)
- ・地域の住民の人たちにとって、緊急避難場所の確保の面からは、近くに学校がある方がいいと思います。子ども達には、多様な交流があった方がいいと思います。今でも、交流できる授業などを、バスを利用して行うことができればと思います。他校といっしょに参加する行事などでは、子ども達が喜んでいる様子が見えるからです。
- ・統合は必要とも思うが、小規模校の良さが失われていく感がある。
- ・旧町単位で合併を考えることを改めるべきだと思う。山間部も多いので地形を考慮して合併

の対象を検討するべきだと思う。数年後の合併を言い出すと理解が得られにくいと思う。すでに家を建てている家庭などは対応が困難であり、不便になることが多いからである。最低でも6年以上前（出産を機に家を建てる場合が多いと考えるため）に合併に計画をまとめ、それをHP等で継続的に周知したり合併後に学校から遠くなる地域に家を建てる場合には建築申請時等に伝えたりする必要があると思う。”

- ・将来的に再編が必要であることは理解できる。再編に至るまでの過程において、十分地域住民や保護者の思いを汲み取り、慎重に進めていただきたい。
- ・校長先生から伺いましたが、ちょっと腑に落ちなかったことを書きます。

①教職員もアンケートに回答→公開しない

公開しないなら、回答すべきではないと思います。

教職員はどのような考えを持っているかを知りたいのなら、市民向け、児童向けのアンケートと同様ではなく、別の形でのアンケートで良かったのではと思います。

②このアンケートは、教員、教職員どちら向けでしょうか？

授業に携わっていないなくても、事務の先生や養護の先生、校務員の先生と、たくさんの先生が児童の様子を見守ってくれています。

授業に関するアンケートではなかったのに、事務職員や養護、校務員の先生方にも回答していただきたかったなと思います。

また、QRコード側には【教職員】アンケート依頼文には【教員】とありました。どちらが正しいのかわからず、回答者のくくりが各校によって変わってきている可能性があり、三豊市内の小中学校の足並みがそろっていないと考えます。その点は、ご承知おきください。

他県で教員をしたことがあり、学校の統廃合に向けた動きについても様々見聞きしました。統廃合をトップダウンで行い、町長・教育長のリコールが起きた事例も知っています。未来を支える子どもたちにとって、価値ある判断を我々大人ができるようにしていかななくてはと考えます。学校ごとに立地条件の特性があり、その立地条件の特性を大いに活かした学校再編になると良いなと思います。

1 私案ですが、文科省で紹介されているCOCOLOプランのモデル校を小規模校で行うのも良いと思います。交通の便が良い、自然が豊かで、地域の人たちからの協力が得られる場所をモデル校として行うのも良いのではないのでしょうか。不登校児童へのアプローチは、様々ありますが、不登校児が将来困らないような学力保障や人間関係を構築できる場も必要と考えています。放課後に来ただけで登校扱いは義務教育までで、1日登校できないなら通信教育に移るよう高校では勧められると聞きました。義務教育の間にしかできないサポートを考えることも大切だと思います。

2 地域の思いも大切ですが、何が何でも残さなくては…との考えには疑問が残ります。小学校・中学校は義務教育です。小規模校に転校したら、自分の思い通りにできる。（保護者都合で学校を休ませたり、宿題をやらせなかったりする）地域住民としての責任を果たさずに、権利ばかり主張して、何もかも思い通りになる。こんな間違った考えを持った人たちが増えています。このような考えの人たちが増えて、その子どもだけが在籍になってまで、存

続する必要があるのか…と強く思います。

3 「過去の統合に向けた話し合いがうまく進まなかったのは、思いを聞いてくれなかったからだ。」と地域の人たちから、強い不信感について伺いました。「教育委員会やだまして詐欺師や。口車に乗せられたら、どうなるか分からん。」と複数の地域住民の方が言われています。その大元は「校区外通学を認めているのに、別の校区から通ってくることは認められていない。」ことだと伺いました。これは三豊市、公的機関が差別を助長していると大きな問題に発展するのではないかと危惧します。「学区外通学を認めた当時の市長や教育長がいらっしゃらない、だから分からない、知らない。」では通用しない問題だと強く感じます。どのような経緯で学区外通学を認められ、現在も続いているのか、全市民に説明していただく機会があれば、教育委員会の話に耳を傾けるのではないかと感じました。

このアンケートが、有意義に活用されることを切に願います。"

- ・市町村再編の時も思ったが、まだ、無理やり統合を進めるべきではない。地域の伝統や顔が見える教育は大切で、統合からは生まれない。
- ・中学校の統合は、小学校でそれが進んでいるが故に、さらに地域意識の薄れにつながると思う。時代の流れであるが、一抹の寂しさを覚える…
- ・再編整備については無理なく無駄なく、じっくり多方面から十分な検討を重ねて、慎重に進めていくことが大事だと思います。
- ・子どもたちが地域の中で、心豊かに育てられている実態を考えれば、現在はメリットがたくさんあるので、学校再建ありきで早急に物事をすすめていくのは、どうかと思う。これまでは、学校現場に情報が入ってこなかったもので、不思議に思う点が多々あった。今回、地域住民の声や学校現場の声を聞いてくださる点、ありがたいと思う。
- ・学校を再編整備しようとする意図を強く感じる。小規模校ならではの良さも多々あると思う。経済的な理由が大きいのではないと思うが、それ以外の理由を出させようとしているのではないかと感じてしまった。
- ・数年前に学校の校舎は耐震工事をして強化している。検討委員会が老朽化と判断しているのなら、その基準や根拠を具体的に示して欲しい。学校は建物だけでなく、地域の人たちや子ども、先生方の教育・生活の場であり、地域を活性化させる役割や歴史を刻んできている。もっと総合的に考えるべきであると思う。検討委員会はどうなメンバーの方々が何人ぐらいで構成されているのでしょうか。これまで統廃合をしてきた地域の例をみると、統廃合ありきで、幅広い意見収集をあまりせず、説明会なども既成事実を作るための開催方式であり、新聞報道などからトップダウン方式で決定したかのようにお知らせをするような事例が多いのが現状です。もっと幅広く意見を聞いたり、実際に通っている子どもや勤務している先生方の声を聞いたりして、慎重に総合的に判断して欲しい。よろしく願います。
- ・特別な支援を必要とする児童や、家庭的にしんどい環境の児童に対して、児童や保護者に、今、学校として温かくよりそう支援が続けられている。児童数や学級数が増えて、スクールバス通学になったとき、弱い立場にいる者にとっては、冷たい学校になるような気がする。現在、個々の学校で取り組まれている、質の高い三豊の教育が、統合することで、良さが失

われてしまう気がする。

- ・検討委員会及び審議内容について、これまで情報提供がなされないまま、再編、統合計画が進んでいることに疑問を感じます。アンケート調査も急すぎるし、回答期間も短か過ぎます。アンケート内容も理解しかねます。今年度中に策定するということですが、児童、生徒の将来に関わる大事なことなので、もっと意見を聞いて慎重に進めるべきだと思います。学校は、児童、生徒の数が減ったから即統合したらよいという簡単なものではありません。その地域の状況をよく考えてほしいと思います。
- ・小学校の統合による、学校近くへの労働人口の人口の流出・偏りによる地域社会・経済の不活性化・消滅が不安です。一度出て行った人たちはなかなか元の地域には戻りません。限界集落の増加に一層拍車がかかりませんか？結果、三豊市の衰退につながるような気がしてなりません。通学バスくらいでは、解決できない問題だと思います。学校の適正規模・お金だけの問題も当然ありますが、それだけではなく、これからの三豊市としてどのように社会を作っていくのか、広い視野で考える必要があるのではないかと思います。そのあたりのビジョンが全く見えません。